

全国の活動より

—東京発—

1. 木と暮しのふれあい展開催

東京都木材市場買方組合（以下都買連）は10月7日、8日、東京都・一般社団法人東京都木材団体連合会が主催し、都立木場公園で開催された「第37回木と暮しのふれあい展」に出展しました。このイベントには20の都内森林・林業・木材関係団体が出展したもので当日は雨天の予報でしたがオープニングセレモニー時には雨も上がり、両日とも天気にも恵まれたこともあり大勢の来場者で賑わいました。

都買連のブースは、縁台づくり、マイ箸づくり、スノコづくりの木工体験、吉野高級ソゲ箸、まな板の販売のほか今年は特別展示として、「木を撮ると何が出てくるかな —木片アプリで遊ぼう—」と題する木材の被写体認証展示を行いました。これはNECさんと共同開発中の被写体認証アプリを使って、木片をタブレットで撮影するとその木片の樹種名や樹種特性、用途、産地情報（観光などの地域情報）が瞬時に検索できるもの、木片に書いた樺や梯梧などの木にまつわる漢字の読み方や花、歌が出てくるといふものです。樹種名・用途等検索は大人、特に木材関係者の興味を引き初日には林野庁長官、2日目には国土交通省副大臣にも立ち寄ってアプリを使っていたいただきました。漢字検索は子供たちに人気があり「すごい！！面白い！」との声が出ていました。まだまだ開発途上ですがIoTを利用した木材利用情報の提供や木育の将来性に手応えを感じました。

木工教室は、おじさまたちの親切な指導ぶりが評判を呼び毎年リピーターがあるくらい。特に、女性に人気なのは、木材利用に女性の影響力が強いことを配慮した特別サービスにあるようです。

まな板と吉野高級箸は価格が安いことや品揃えが豊富なこと、木材に関するうんちくのサービス付きなのが好評となっています。

今年も、東京木材市場、東京木材市場買方組合、東京中央木材市場、全市連の皆様の絶大なご協力とご奮闘により木材利用の推進に貢献できました。心より感謝申し上げます。



林野庁長官にアプリを説明



漢字検索は子供たちに人気



太鼓演奏の子供達、太鼓の材料は？



女性に大人気の縁台作り指導



スノコづくりに熱心な幼児



ヒノキのマイ箸づくり

2. 東京木材市場買方組合の吉野視察ルポ

東京木材市場買方組合のメンバー8名が、9月22、23日、奈良吉野の産地視察を行い草野が同行しました。訪問先は、吉野町の阪口製材所（坂口浩司代表）と株式会社徳田銘木（徳田 浩社長）。

阪口製材所さんは、吉野材で家づくりに必要な構造材はもとよりピーリングやフローリング、テーブル板までほぼ全ての部材を揃えて注文に応える製材所です。

倉庫を見せていただきましたが、天然乾燥した部材が1棟分毎に100棟分以上がストックされて注文に即応することが出来るとのことでした。出荷待ち材を揃えるのに20年前2年間売上0でも販売をしないでひたすら出荷待ち材をストックしたとのこと。その決断と信念に驚きました。

阪口社長のお話と感想です

- ・ 施主を見つけて施設主の夢を叶えるための商売、決して設計士のためではない。
- ・ 設計士や施主には物を見て感じてもらうため吉野まで出向いてもらう。現場で夢や悩みを聞くことが大事ということでしょう。
- ・ 20年前の当時ぎりぎりの価格を現在でも変えていない、安くしますので使って下さいという商売を変えて精神的に楽になったとのこと。
- ・ 割れは木材の欠点と言う考え方ではいけない天然素材の特徴である。
- ・ 出荷待ち材の中でも、長期間保管して木目を浮き上がらせて古材風に仕立てた物があり興味を持ちました。



倉庫の中は集荷待ち材が1棟分毎に分類されて保管



吉野杉の木目が浮き上がる程の長期自然乾燥

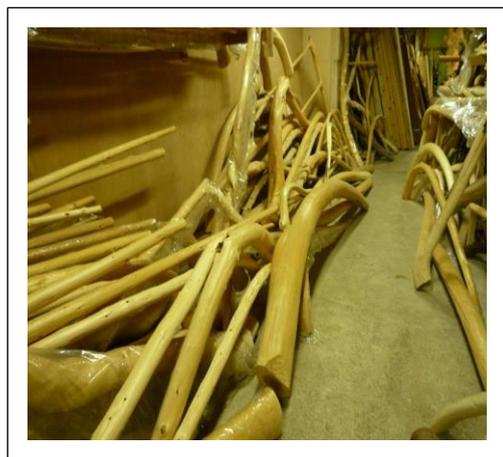
黒滝村にある株式会社徳田銘木では、いわゆる、形状、色、木目、材質などが特異な銘木はもとより磨き丸太、海布丸太、珍木、変木、丸ごと一本の立木を加工したもの、大径、長尺、枝、などの自然木、杉皮まであらゆる材種と量の在庫を徳田社長の説明を受けながら見せていただきました。その量は3万本とのこと。ないものはないとの印象を強く受けました。

徳田社長のお話と感想です。

- ・多様な注文に備えて用意しているつもりであり、施主の注文に合うかどうかはわからないが見てもらえることができるようにしている「ありません」とは言わない。見てもらえば気に入ってもらえるという自信がうかがえました。
- ・予想のつかない物が求められるなど時代によって違う。これからの木の使い方にはデザイナーと連携することが重要だ。
- ・木に風景が見えるのは自然が醸し出した天然木の魅力でありそれが人を魅了するとのこと、それを生かした使い方でなければならないということだろう。
- ・徳田社長の人脈はすごい、ジャンルを問わずあらゆる人の知恵を結集されているのだろう。その人脈とリーダーシップが商品開発や販路開拓に生かされている。いただいたパンフレットはデザイン性にあふれた斬新なものでした。



いわゆる銘木の材種、品揃えも豊富



枝もデザイン次第で活きる使い方がある

吉野のように歴史ある林業地で丹精込めて林業技術を駆使して育てた優良役物の需要が減少している中で天然素材である木材の本来の良さを生かしてどのように利用すべきか考えさせられた視察でした。

全買連の動き

1. 全買連情報交換会の開催

□ 9月7日、早川会長、竹内副会長、若山常任理事、松山理事、雪本相談役の出席のもと東京で情報交換会を開催しました。この会議は、総会から次期理事会までの期間が長く、その間の中央・地方の情報交換が必要なこと。全買連が直面している財政問題の今後のありかたについて事務局からの情報提供及び意見交換が必要なことから開催されたものです。

当日は、事務局から全買連の財政状況と今後の対応策について概要を説明したほか林野庁予算概算要求、クリーンウッド法に関する情報について意見交換を行いました。

2. 全国事務局長会議の開催

10月6日、初の全国事務局長会議を開催しました。

この会議には、神戸、大阪、愛知、東京(東木、中央)の各事務局長が参加しました。

会議に先立ち、林野庁、全木連の講師によるクリーンウッド法に関するセミナーを受けてもらいました。

会議は冒頭、早川会長の挨拶に続き、事務局から林野庁予算概算要求について情報提供を行った後、全買連の財務状況の見通しを示し問題提起と今後の対応策を説明して意見交換を行いました。今回は、現状認識が主体となりましたが今後具体的な対応策について意見を集約しながら検討することになります。

翌日は、都買連が出展する「木と暮らしのふれあい展」を視察してもらいました。



3. JAS製材品普及推進審査会

9月6日(水)、7日(木) 津山総合木材市場

9月21日(木)、22日(金) 東海木材相互市場

10月11日(水)、12日(木) 丸宇木材市売北浜市場

で、開催されました。

残りは、11月27、28日の伊万里木材市場となります。

木材関係団体の今後の日程

第52回全国木材産業振興大会

期日：平成29年11月9日(木)

場所：奈良県奈良市 100年会館

大阪木材仲買協同組合創立70周年記念式典

期日：11月9日 17時

場所：リーガルロイヤルホテル

編集後記

異常ともいえる夏が終わり、秋の気配の兆しと同時に選挙戦、日替わり情勢に目がくらみそうです。

東京では見事な中秋の名月を見ることが出来ました。皆様のところはいかがでしたでしょうか。

9月30日、日光で茅刈りを行った日は初霜に見舞われました。そして北からは紅葉の便りが届いていますが今年の紅葉はどんな色づきになるのでしょうか。

10月は木の日もあってイベントが目白押し、紅葉を愛でている時間はなさそうです。ニュースレターも掲載記事が盛りだくさんなのでいつもの「立っている樹」の話はお休みとしました。

今回は、東京発が多く地方の情報がありません。イベントなどの情報（写真付）をお待ちしています。

これから朝晩の冷え込みが強くなります体調を崩さないようご自愛下さい。